

経済的支援（前期課程：修士）

- **学生支援機構 奨学金 [貸与]** 1種：月5～8.8万円、2種：月5～15万円
1種は返還免除制度あり
全額免除(10%)、半額免除(20%)は、修士論文審査での成績、その他により決まる。
- **TA (teaching assistant) [給与]** ～7万円/ Semester
学部授業の補助
(レポートや試験の採点、講義資料作成、学生実験補助など)
3月、9月に募集(他大学からの入学者も4月より就業可能)
- **学際高等研究教育院** : 異分野融合
授業料相当 (M2)
物理学専攻で必要となる単位に加えてプログラム毎の要件あり。
- **国際共同大学院** (M2から4年間)
 - スピントロニクス(GP-Spin)
 - 宇宙創成物理学(GP-PU)
 - 材料科学(GP-MS)東北大学と海外連携先機関による研究、教育
海外講師によるセミナー、スクール
RA給与、国内外への学会・研究旅費援助
- **卓越大学院 (人工知能エレクトロニクスAIE)**
: 産学連携、学際融合

経済的支援（後期課程）

- 学生支援機構 奨学金 [貸与] 1種:8~12.2万円/月、2種:5~15万円/月
1種:全額免除(10%),半額免除(20%)は、博士論文審査での成績により決まる。
- 学術振興会特別研究員(DC)
~20万円/月 [給与]+研究費毎年約150万以内
DC1 (D1より3年間、採択率19.4%)、DC2 (D2 or D3より2年間、採択率 19.3%)
- 学際高等研究教育院 : 異分野融合
学振DC相当
- 国際共同大学院 (M2から4年間)
東北大学と海外連携先機関による研究、教育
海外講師によるセミナー、スクール
RA給与、国内外への学会・研究旅費援助
 - スピントロニクス(GP-Spin)
 - 宇宙創成物理学(GP-PU)
 - 材料科学(GP-MS)
- 卓越大学院プログラム(人工知能エレクトロニクスAIE)
:産学連携、学際融合
 - グローバル萩 (年間60万円)
 - 理学研究科RA
 - TA (teaching assistant) [給与]

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ 創設事業

https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fellowship/index.htm

● 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業

事業背景・概要

論文の筆頭著者の約2割を占める博士後期課程学生は、先端研究の現場の重要な担い手であるとともに、次代の科学技術・イノベーションを担う貴重な存在です。今後、高度人材の獲得競争が激化する中で、修士課程から博士後期課程に進学する優秀な人材の確保が不可欠です。

しかし、近年、博士後期課程における経済的な不安と研究者としての将来のキャリアパスが不透明であることが相まって、我が国では、博士後期課程に進学する学生が減少し、博士号取得者数も、主要国の中で唯一減少傾向にあります。

また、優秀な学生が研究の世界に失望し、研究者を志望しないとの厳しい指摘も多く、我が国の将来の科学技術イノベーションの空洞化が強く懸念されております。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大による博士号取得の遅れや研究環境、経済状況の悪化により、博士後期課程学生の状況はさらに深刻化されることが見込まれるところ、この危機的状況を打開するためには、博士後期課程学生への支援の在り方を根本から変えていく必要があり、大学のシステム改革と連動した対策が急務です。

このような背景を踏まえ、修士課程から博士後期課程に進学する優秀な人材の確保を図るため、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの支援を、全学的な戦略の下で一体として実施する大学への支援を実施します。

1. 事業の趣旨

本事業は、博士後期課程学生支援に関する文部科学省の新たな取組であり、1 博士後期課程学生の処遇向上（生活費相当額（180万円以上）の支援を含むフェロシップの創設）と、2 キャリアパスの確保（博士課程修了後のポストへの接続）を、全学的な戦略の下で一体として実施する大学に対し、文部科学省からの補助金を支給します。

なお、本件は、政府目標（15,000人の博士後期課程学生への支援）の一部として位置づけられ、これにより令和3年4月1日より、1,000名規模の博士後期課程学生に対して、フェロシップの支給等の支援が各採択大学において開始される見込みです。

（令和3年度予算の成立が前提となるため、「実施予定機関」としています）

採択機関一覧(支給予定人数順)

機関名	申請区分・支援予定人数				計
	ボトムアップ型	分野指定型(情報・AI)	分野指定型(マテリアル)	分野指定型(量子)	
国立大学法人東北大学	40	30	30	20	120
国立大学法人東京大学	25	20	30	35	110
国立大学法人京都大学	11	25	40	21	97
国立大学法人大阪大学	20	13	20	25	78
国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	26	26	13	12	77
国立大学法人北海道大学	20	40			60
国立大学法人広島大学	13	10	24	6	53
国立大学法人東京工業大学		40			40
国立大学法人九州大学	12	8	8	6	34

- ・**ボトムアップ型**：大学の強みや地域の強み等を生かしたイノベーションの創出等が見込まれる人文・社会科学を含む幅広い分野を大学が提案
- ・**分野指定型**：産学を通じて、人材ニーズの高まる分野（情報・A I、量子、マテリアル等）を国が指定